

アキュラホーム 地球環境保護への取り組みを強化

クリーンエネルギー家庭用燃料電池“エネファーム”搭載住宅を1460万円から販売

株式会社アキュラホーム(社長:宮沢俊哉 本社:東京都新宿区)は、地球環境保護に貢献する高性能住宅を普及価格で供給する取り組みの一環として家庭用燃料電池“エネファーム”搭載住宅を本体価格1460万円(38.11坪)から販売いたします。“エネファーム”は本年5月、世界に先駆けて一般販売を開始したクリーンエネルギー装置である家庭用燃料電池コージェネレーションシステムです。まずは2009年7月4日より正式受付を開始いたします。(1)

経済産業省資源エネルギー庁は2030年までに累計250万台の家庭用燃料電池“エネファーム”普及を目指し、初年度である今年は4000台程度普及させる見通しを立てているとのことです。“エネファーム”の導入は、現在のところ大手住宅メーカーが先行し、全国の中小工務店での取り扱いはまだしばらく時間がかかると見られています。しかしながら“エネファーム”搭載住宅の普及を実現させるためには日本の住宅の7割以上を担っている全国の工務店がその役割を果たさなければいけません。アキュラホームでは“エネファーム”搭載住宅の販売を实践し、全国の地域ビルダー・工務店500社によるネットワーク「ジャープネット」会員への施工技術の習得や営業ノウハウを全面的にサポートできる体制を整えます。幅広く一般消費者に供給されることにより家庭用燃料電池“エネファーム”の普及推進を支援する狙いもあります。

地球環境保護に貢献する高性能住宅普及への取り組み

アキュラホームはこれまで住まいづくりを通して地球環境保護に取り組んでまいりました。例えば環境に優しい次世代省エネルギー住宅や太陽光発電住宅、オール電化住宅など高性能住宅の開発・販売です。これらは以前まで高い技術力を持つといわれる大手住宅メーカーによる、一部の消費者のための高額な住宅とされていました。しかしながらアキュラホームは日本最大の工務店ネットワーク「ジャープネット」とともに一般消費者にも手の届く価格で供給し、これら高性能住宅の普及推進に貢献してまいりました。このような活動実績が高く評価され、2004年には経済産業省次世代省エネ住宅普及促進事業研究会に招聘、この研究成果を受け、低価格でありながら可変性を備えた次世代省エネルギー住宅「はるのSi」を発表しました。

家庭用燃料電池「エネファーム」

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム“エネファーム”は地球温暖化の防止に向け環境負荷の低い新エネルギーとして開発されました。その原理はガスから水素を取り出し、酸素との化学反応で電気を発生させます。化学反応によって得られた電気は家庭内で利用し、同時に発生する熱を給湯に利用する、実に合理的なエネルギーの使用法です。そしてなによりもCO₂排出削減に大きな効果をもたらします。CO₂排出量はガス給湯器を使用する一世帯の年間平均排出量5.2t(2)に対して“エネファーム”搭載住宅は1.3tの排出を削減し、光熱費を年間約6万円節約します。さらには経済産業省資源エネルギー庁より今年度から140万円を上限に導入の2分の1の補助金が交付されます。

- 1 東京ガス供給エリア(東京都、神奈川県、千葉県および埼玉県南部)のみでの限定販売となります
- 2 温室効果ガスインベントリオフィス「日本の1990～2006年度の温室効果ガス排出量データ」より

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・山本

TEL:03-6302-5010 FAX:03-5909-5560

住所:東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F

ホームページ:<http://www.aqura.co.jp>

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」

をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、高品質でありながら坪 30 万円以下で建築可能な注文住宅を提供している。



また、創業以来 30 年にわたり、日本の住宅価格の適正化に努め、「住宅建設コスト低減コンペ」における建設大



臣表彰、さらに東京都が進める東村山市本町地区プロジェクト「価格引き下げ実証実験」では圧倒的な低価格提案をもってプロジェクト事業者 4 社の内 1 社に選定され、全

7 期申込み倍率 1 位を記録した。

日本最大のネットワーク・工務店支援

全国の地域ビルダー・工務店 500 社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」を主宰。そのスケールメリットを活用し、高品質・低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入している。こうした活動は、多方面から注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされた。2005 年には自らの IT 活用に加え、住宅建設業界での IT 活用の普及に貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章。

暮らしをデザインする

2005 年「匠階段(スケルトン)」、2006 年「ガラスウォール」、2008「オブティス・サステナブル」がグッドデザイン賞を受賞。また、2007 年には「ガラスウォール」が新日本様式に選定される。

さらに、自由設計でありながら、一棟一棟の住まいが美しくデザインできる「デザインコード(原則)」を開発するなどアキュラホームはデザイン開発を進めている。



高品質な価値ある家作り

公開実大耐震実験で過去最大級の地震波を連続 3 回再現し、震度 7 クラスの激震を受けたにも関わらず、構造体に異常や損傷なく、極めて高い耐震性能が実証された。



また、住宅性能表示制度、7 項目で最高等級に対応する高品質な家作りを行っている。

ジャープネット(JAHBnet)



ジャープネットは全国 500 社の工務店・ビルダーが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが 94 年に独自の住宅建築合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに 2500 社以上の全国の工務店に導入されると共に、98 年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャープネット)を設立した。安全・安心の住宅「新生代ハウス」を供給している。ジャープネットは全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに 10 年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。2008 年 3 月にはジャープネット販売累計が 60,000 棟を超えた。

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和 53)年 10 月
資本金	9,314 万円
従業員数	756 名(09 年 4 月 1 日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売 住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	278.33 億円(09 年 2 月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp